キャリア教育全体計画

日本国憲法，教育基本法
学校教育法，学習指導要領

学校教育目標
挑戦を楽しむ

生徒の状況
○ペア・グループ活動に意欲的に取り組む
○進んで挨拶ができる。
○素朴で素直である。
●地域の高校に進学する生徒が４割程度(R5)。
●筋道を立てて話すことが苦手である。
●自己肯定感，自尊感情が低い。

地域等との連携
～みんな大好き　わが郷土　上下～
・地域を学び（人，歴史，文化，自然等）
・地域から学び（地域小中高合同清掃活動，花いっぱい運動，職場体験学習，ゲストティーチャー教室，出前授業）
・地域とともに学ぶ（町内行事への参加参画，ふるさと課題解決発見学）

めざす生徒像
・主体的対話的に深く学び，協働して行動できる生徒
・思いやりと郷土愛をもち，社会－世界に向き合う生徒
・高い志と意欲をもち,粘り強く,たくましく人生を切り拓いていくための資質・能力を身に付けた生徒
・郷土上下に誇りを感じ，地域・社会に貢献する生徒

保護者の願い
・学力の向上　・部活動の活性化
・マナーの育成　・情報公開
・豊かな心の育成

キャリア教育推進の目標
分野や職種にかかわらず，社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力を身につけさせる

人間関係形成・社会形成能力 ― 自己理解・自己管理能力 ― 課題対応能力 ― キャリアプランニング能力

進路指導目標

○　個々の学習意欲を高め，基礎基本の学力を定着させる。
○　自己の個性について理解させ，将来の進路についての関心を高める。
○　職場体験学習等を通して，働くことの意義を実感させ，自己の将来を考えようとする態度を育てる。
○　必要な進路情報を収集し，自己の進路選択に生かす力を育てる。

【今年度重点目標】
○　小中９年間を見通したキャリア教育カリキュラムの実践。
○　教科等，道徳，総合的な学習の時間との関連を図ったキャリア教育の推進。
○　体験学習における事前･事後指導の充実と改善。

各学年の指導目標

１学年	２学年	３学年
充実した中学校生活を送ろう！	*夢のある進路計画をたてよう！*	*自己実現に向けた進路選択をしよう！*
○進路学習への関心と意欲を高め，夢と希望をもち，充実した中学校生活が送れるようにする。 ○自己理解と進路計画の重要性を理解するようにする。 ○基本的生活習慣を身につけるようにする。	○働くことと学ぶことの意義と目的を，職場体験を通して理解する。 ○職業やこれからの進路選択する学校の情報をもとに能力，適性等をふまえた進路計画をたてるようにする。 ○中堅学年としての自覚をもち，健康で安全な生活が送れるようにする。	○将来を見通した進路の選択や決定が体験入学等を通して，具体的にできるようにする。 ○将来に対する不安を解消し，希望の実現に向かって努力する態度を身につけるようにする。 ○自分の進路に誇りをもち，最高学年として責任ある行動がとれるようにする。

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	その他
○わかる授業，成就感の味わえる授業を創造する。 ○将来の職業生活に必要な基礎知識，技能の習得を図る。 ○授業を大切にして，目標を持って計画的に学習できるよう指導する。 ○教科の中で自己の能力，適性を知り，伸ばしていく能力を身につけさせる。	○自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め，役割と責任を自覚させ，集団生活が向上するように指導する。 ○勤労の尊さや意義を理解させ，奉仕の精神をもって公共の福祉と社会の発展に努めようとする態度を指導する。 ○よりよい生き方について様々な角度から考えさせ，充実した生き方を追求させる。 ○価値観を鍛え，望ましい進路選択の態度を育てる。	○一人一人が存在感をもち，楽しく生活できるように計画する。 ○学習の仕方，計画の立て方や学び教え合う態度を育て，基礎学力の充実を図る。 ○生徒会活動，学校行事，部活動の在り方を理解させ，積極的に取り組む態度を養う。 ○進路学習の時間を確保し，３年間を見通した計画を立てる。 ○学活や行事・SHR 等において，進路に対する関心を深め，適切な進路選択能力を育てる。	○自分をみつめ，自分の良さや個性を伸ばそうとする態度を養う。 ○様々な体験学習を通して，自ら進んで情報を収集・活用し，自分の生き方を考えようとする態度を育てる。 ○学び方やものの考え方を育てる。 ○自分の適性に合った進路選択をする力を養う。	○適切なキャリア・カウンセリングを通して一人一人の個性を生かすよう指導，援助をする。 ○保護者，地域社会，学校との連携及び関係諸機関との連携を図る。 ○キャリアノートでは，総合的に自己評価し，担任のアドバイスをもとに次の活動に活かす。

キャリア教育実践のための基盤

進路指導資料の整備，充実と効果的な活用	全教職員の推進体制の確立と研修の充実	ＰＴＡとの連携の充実	商工会をはじめとした地域との連携の充実	生徒指導の充実と学年，学級経営の充実	小学校・高等学校との連携の充実